

Our vision is that organic textiles will become a significant part of everyday life, enhancing people's lives and the environment.

GOTSのビジョンは、オーガニック繊維が、日々の暮らしの中で重要な意味を持ち、人々の暮らしや環境を豊かにするものであること。



GOTSは、繊維製品の**サプライチェーン全体**を対象とし、**独立した第三者認証**に裏打ちされた、**環境的・社会的要件**を含むオーガニック繊維製品の**製造加工**の基準です。

目的：

- オーガニックテキスタイルに関する世界的に認められる要求事項を定義すること
- 原料の収穫から、環境と社会に配慮した製造、ラベル表示まで、消費者に信頼性の高い保証を提供すること

事業者は、主要な市場で受け入れられる単一の認証を使用して、オーガニックテキスタイルを取引できる。

GOTSとその品質保証システムを開発した4つの設立団体

- International Association Natural Textile Industry (IVN), ドイツ
- Soil Association (SA), イギリス
- Organic Trade Association (OTA), アメリカ
- Japan Organic Cotton Association (JOCA), 日本

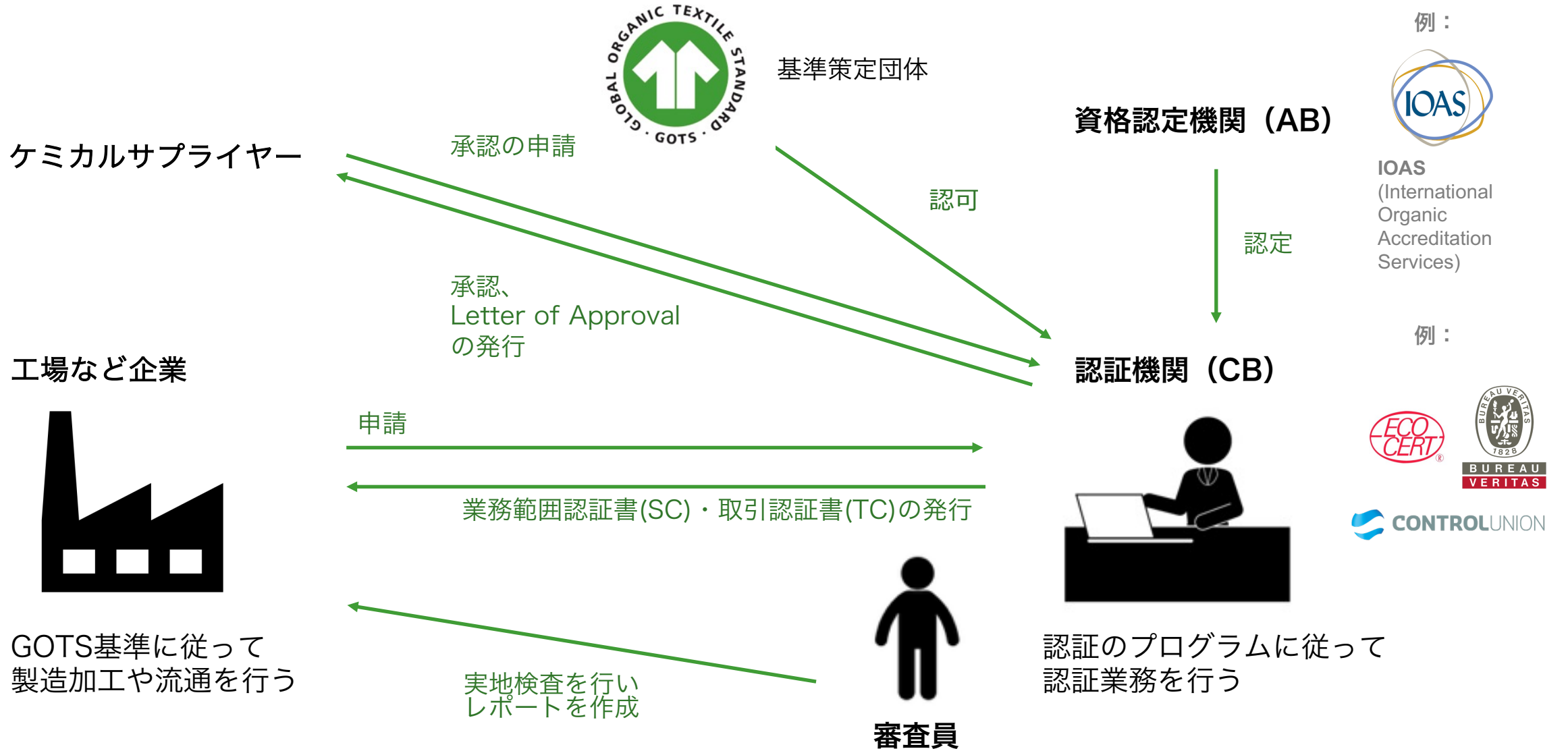


国や地域をまたいで加工・流通される繊維製品は、グローバルに通用する1つの基準が必要



- 2002年：発足
- 2005年：最初の基準書の公開
- 2006年：認証システムがスタート

GOTS認証の仕組み



- ・ 3年に一度の改訂
- ・ GOTS 7.0 2023年3月に発表
- ・ 2024年3月に完全に実施

準備

- ✓ドラフト 1.0
- ✓SRC設置
- ✓[revision@](#)

第1回パブリック・ コンサルテーション &SRC協議

- ✓357のインプット
- ✓化学・社会専門家グループ
- ✓SRC協議
- ✓ドラフト 2.0

第2回パブリック・ コンサルテーション& SRC協議

- ✓260のインプット
- ✓化学・社会専門家グループSRC Diskussionen
- ✓SRC協議

GOTS 7.0

- ✓最終的なリリース
- ✓2023年3月に公開

改訂プロセス

- ・ GOTSの改訂には、SC、CCの他にさまざまなセクター（ブランド、化学メーカー、NGO、人権、環境）の代表がバランスよく参加している
- ・ パブリックコメントを導入
- ・ 改訂ドラフトは随時ウェブサイトにて公開
- ・ 寄せられたパブリックコメントの公開、そしてパブリックコメントへのGOTS SRCの回答および決定事項の統合リストの公開
- ・ 詳しくは[こちら](#)



GOTSの主な特徴： 繊維生産における持続可能性への包括的アプローチ





GOTS製品に使用されるオーガニック繊維は、国際的に認められた有機農業基準に基づいて認証されたものでなければならない



ラベル等級

Certified organic plant and animal fibres

- Organic (95-100%)
- Made with Organic (min 70%)
- “Organic in-conversion” fibres are allowed instead of “Organic”



農業分野の認証

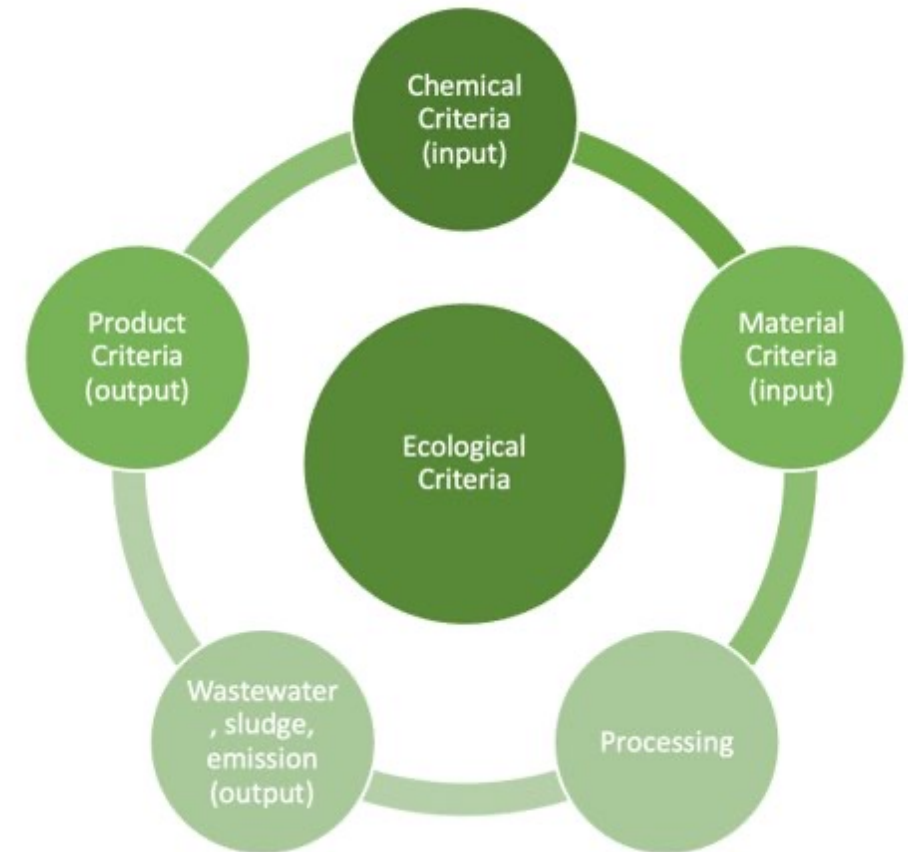


Certified to recognised organic production standards:

- Any standard approved by the IFOAM Family of Standards for the relevant scope of production (crop or animal production)
 - EU’s Regulation (EC) 834/2007 +
 - USA’s USDA National Organic Program (NOP)
 - India’s APEDA’s NPOP
 - China’s Organic Standard GB/T19630

GOTS環境的要件：インプット、プロセス、アウトプット

- インプット段階：繊維材料と化学物質の投入基準
- 加工段階：繊維加工基準
- アウトプット段階：排水、汚泥、排出物、製品品質基準





トレース可能な管理システム

記録保持

- 施設に搬入されたオーガニックと追加素材、付属物と投入資材の原産地、種類、数量
- 施設内での製品のフロー
- 施設から出荷されるGOTS製品の種類、数量、受取人などをトレースできる管理システム

認証書の管理

- サプライヤーからの認証書の受け取り、保持など



加工と製造には厳しい環境的要件が設けられている

全ての加工工程における要件

- 書面による環境および化学物質の管理方針
- すべての加工工程での有害物質（例：PFAS）の禁止
- 水・エネルギーの使用・廃棄物と排出物のモニター
- 温室効果ガス（GHG）排出管理：GHG排出源の特定、GHG排出削減のための監視、定量化

ウェットプロセス段階

- 廃水の適切な処理

ケミカル・サプライヤー/配合剤事業者に対する要件

- ケミカル投入資材のプロダクトスチュワードシップ（製品の責任管理）

加工と製造には厳しい環境的要件が設けられている

GOTSは2つの段階で有害化学物質を管理

1. 使用前の承認：投入される化学物質は、工程で使用される前に審査される
 - 染料、顔料、インク、助剤、酵素、糊剤、仕上げ剤、機械油などは全て承認される必要がある
 - 環境への危険（例：H400・水生生物に有害）または健康への危険に関する特定の危険有害性情報（リスク・フレーズ）に分類される投入資材の禁止
2. 残留物の制限：GOTS製品は残留物検査の対象となる
 - 認証された企業およびGOTS認証機関は、リスク査定に基づき最終製品の試験を実施することが求められる

GOTSの社会的基準は、主要な国際的な基準に基づいている

- UNGPs on Business and Human Rights
(ビジネスと人権に関する指導原則)
- ILO (国際労働機関) Conventions and
- OECD Guidelines



GOTSの社会的基準は、すべての加工・製造工程で義務付けられている

- 児童労働、強制労働、差別、危険な加工工程、ジェンダーに基づく暴力 (Gender Based Violence)などの禁止
- 安全で衛生的な労働環境の確保
- 「生活賃金」の計算、生活賃金データと報酬データの比較及び「賃金格差」の計算、「生活賃金」を支払うための計画の策定



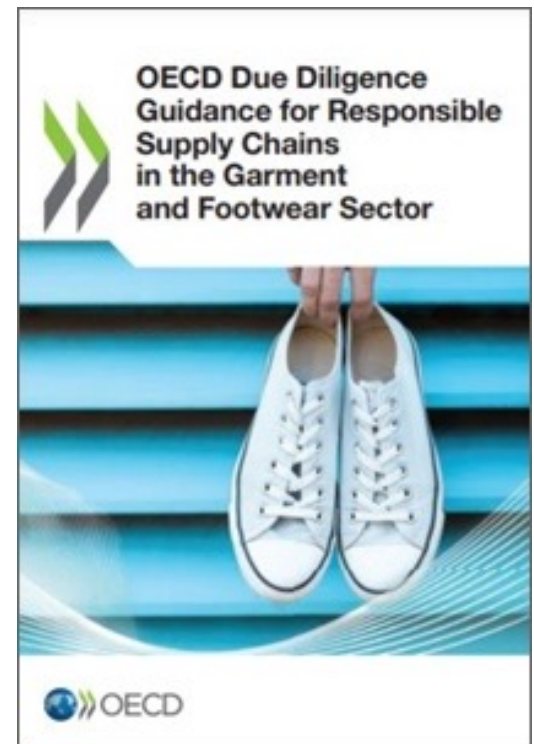
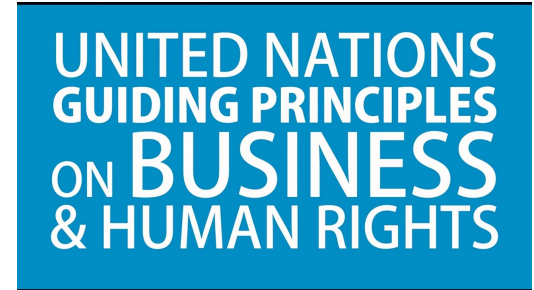


- デュー・ディリジェンスは、GOTS 7.0 の人権と環境に関する基準の中核となる要素で、デュー・ディリジェンスにおいて**高いベンチマーク**を設定している
- GOTS 7.0 のデュー・ディリジェンス要件は、**国連の指導原則、責任ある企業行動のためのOECDデュー・ディリジェンス・ガイダンス**や**衣類・履物セクターにおける責任あるサプライチェーンのためのOECDデュー・ディリジェンス・ガイダンス**に基づいている
- GOTSデューディリジェンス・プロセスを実施する際には「**負の影響に対処するための6つのステップ**」に従う必要がある
- 先日、GOTSは認証事業者向けの**デュー・ディリジェンス・ハンドブック**を発表。GOTS認証事業者のためのデューディリジェンス実施に関する詳細なガイダンスを提供する
- GOTS 7.0 は現在、**OECD Standard評価プロセス中**



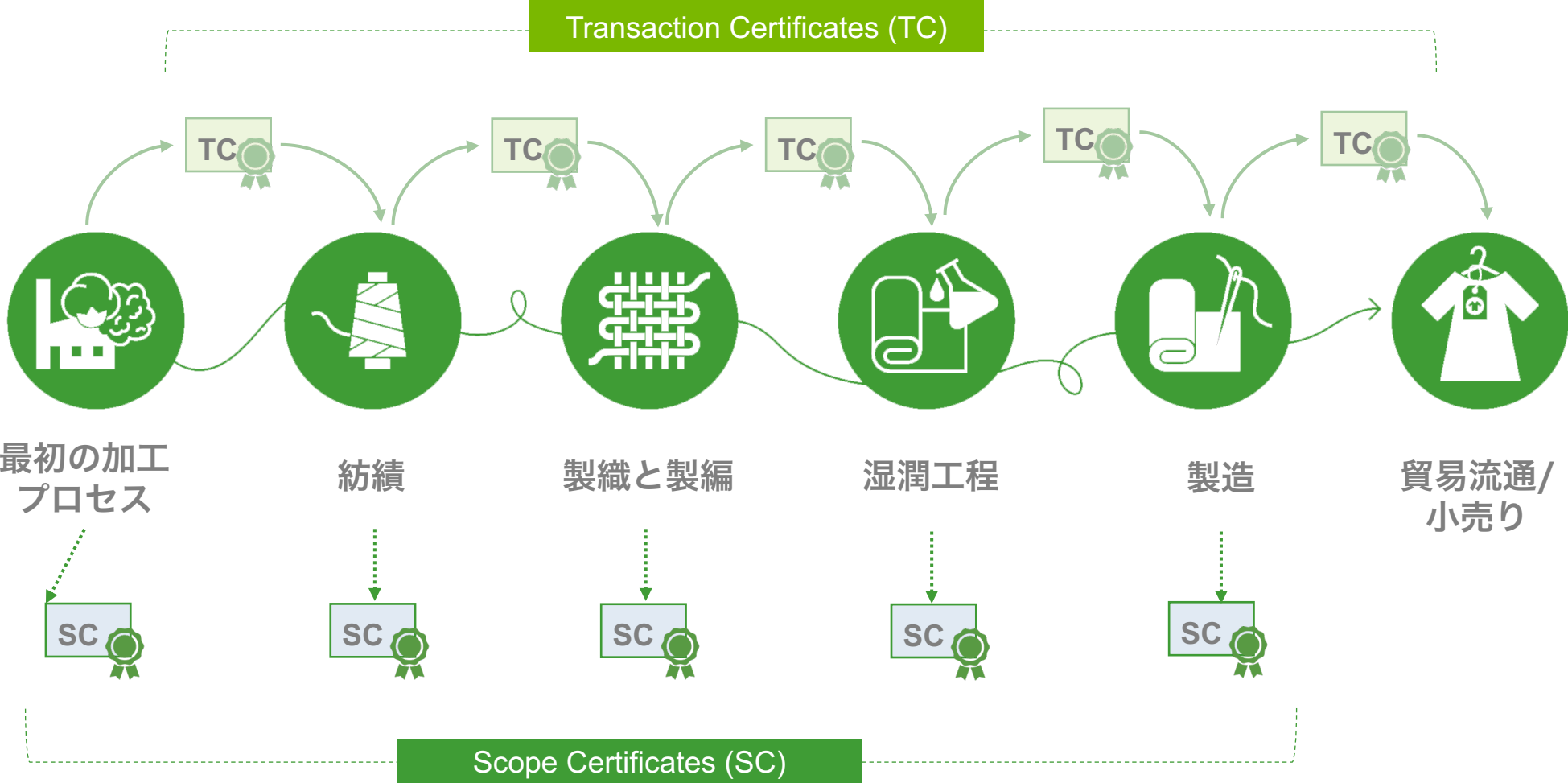
欧州コーポレート・サステナビリティ・デューディリジェンス指令案(CSDDD)やドイツ、フランス、ノルウェーなどのデューディリジェンス法はOECDのガイドラインに基づいています。

GOTSは、**認証取得事業者**にとって、法律を守っていることを**証明するための手助け**になることを目的としている。





GOTSバリューチェーンの全工程が対象





認証および監査要件

- GOTS認証事業者：加工業者、製造業者、貿易業者
- 年次監査、認証機関のリスク査定に基づく抜き打ち監査の可能性あり
- 有効なGOTS事業範囲証明書（SC）には、製品カテゴリーおよび加工・製造・取引活動、下請業者の詳細の記載
- 監査内容の一部：
 - 施設での製造加工のチェック・保管システムのチェック
 - 使用される化学物質の投入物（染料と助剤）と付属品の検査
 - 廃水処理システムの検証
 - 社会的規範遵守確認のインタビューや社員名簿の確認
 - GOTS製品の取引を検証するための帳簿のレビュー
 - 残留物チェック



二重の保護システム

01 認証

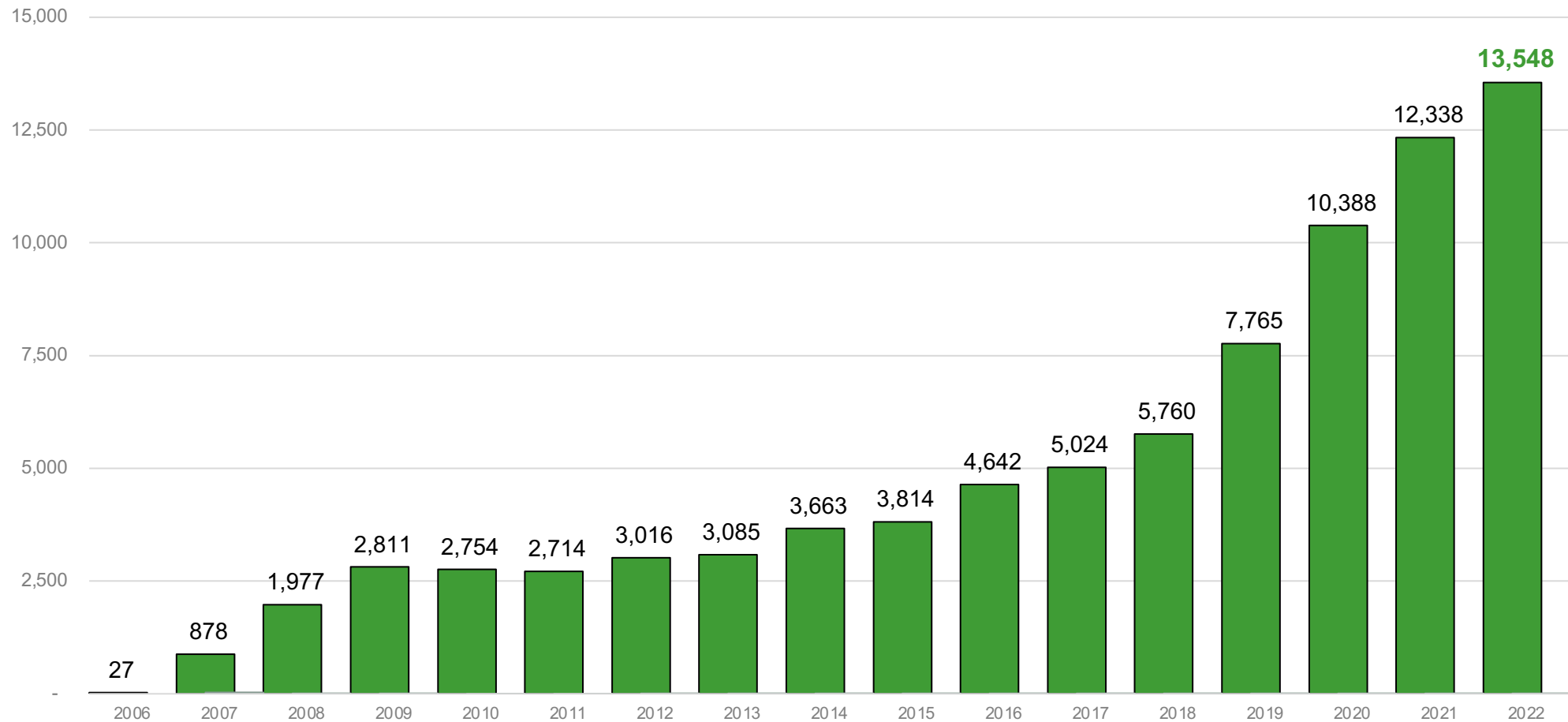
- 輸入レベルまでの加工チェーン全体の現地検査
- オーガニック製品の流れ、環境および社会的要件が検査の対象
- 年次検査サイクル

02 残留物検査

- 残留物の限界値
- 汚染のリスク評価
- ISO17025に従って資格認定されているかGLP適合の試験機関での分析



24の承認されたGOTS認証機関が報告した認証施設は、83カ国で合計13,548件

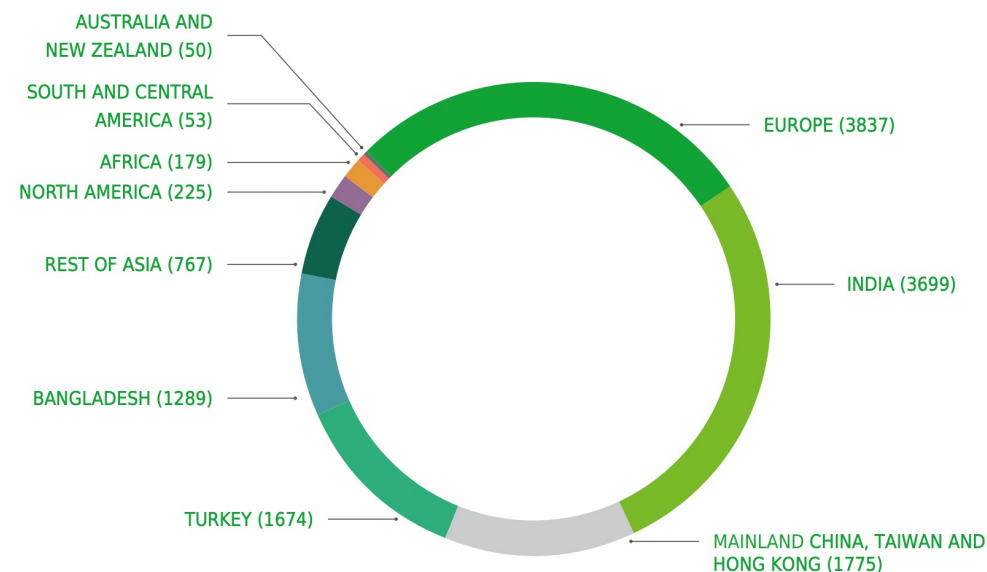




24の承認されたGOTS認証機関が報告した認証施設は、83カ国で合計13,548件

Top 10 countries	Facilities in 2022
India (IN)	3.699
Turkey (TR)	1.674
China (CN)	1.646
Bangladesh (BD)	1.289
Italy (IT)	1061
Germany (DE)	830
Portugal (PT)	615
Pakistan (PK)	347
France (FR)	276
United States (US)	211

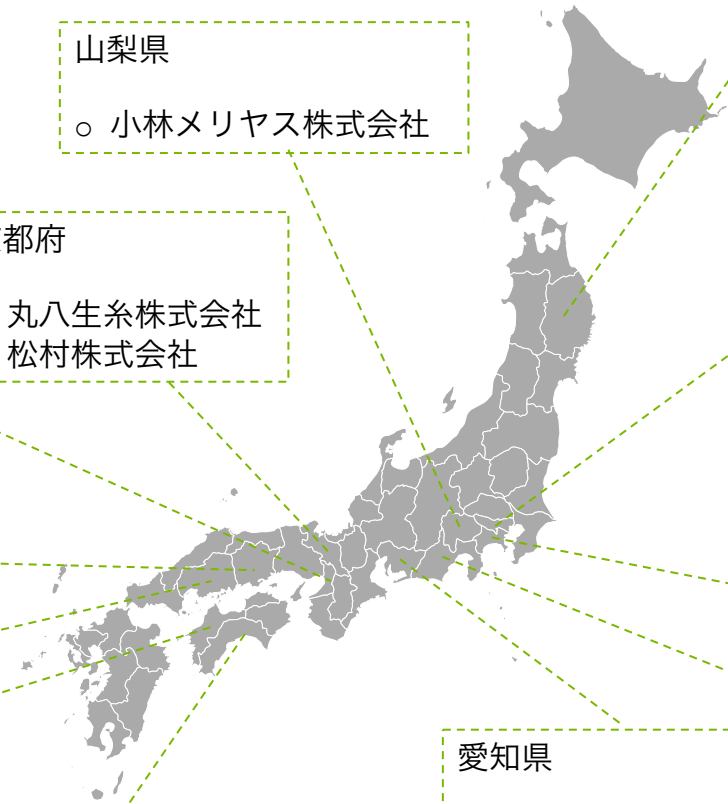
Distribution of GOTS Certified Entities in 2022



国内の普及状況



国内のGOTS認証事業者：40社 認証されている施設件数：約90サイト



大阪府

- 旭紡績株式会社
- 倉敷紡績株式会社
- 丸紅インテックス株式会社
- ナンカイテックス株式会社
- 三恵メリヤス株式会社
- 大正紡績株式会社
- 東洋棉花株式会社
- 東洋紡せんい株式会社
- ユニチカトレーディング株式会社
- 株式会社エクスプラス
- 株式会社ヤギ
- 山忠棉業株式会社

岡山県

- ユニチカテキスタイル株式会社

広島県

- カイハラ株式会社

愛媛県

- 丸三産業株式会社
- UMCT株式会社

高知県

- 株式会社ビルドアップグループ
- 株式会社ハート

山梨県

- 小林メリヤス株式会社

京都府

- 丸八生糸株式会社
- 松村株式会社

岩手県

- 株式会社日本ホームスパン

東京都

- 株式会社アパレルテクニカルラボトリー
- フェアトレードカンパニー株式会社
- ブルーミング中西株式会社
- 株式会社 フェアトレードコットンイニシアティブ
- 伊藤忠商事株式会社
- MODEX 株式会社
- 株式会社森製綿所
- 株式会社オンワードコーポレートデザイン
- 株式会社パノコトレーディング
- サイボー株式会社
- トスコ株式会社

神奈川県

- 株式会社KOB

静岡県

- 山弥織物株式会社

愛知県

- 興和株式会社
- 株式会社三和ジャパン
- スズラン株式会社
- 豊島株式会社
- END

※2023年10月24日現在、
GOTSサプライヤーデータベースより



GOTSの取り組みについて：

- **サステナビリティ・レポーティング**：GOTSはESG基準を重視し、サステナビリティ・レポーティング基準の要求事項に合致するようベンチマーキングを行なっている。最近のEU directive 2022/2464 on Corporate Sustainability Reporting（企業サステナビリティ報告指令）を踏まえていて、GOTSは認証事業者がこの指令の要件を遵守するために役立つツールとなる。
- **セントラルデータベース**：中央データベース「Global Trace Base」でGOTSのすべての認証関連データを保持、量的な整合性の照合を含む認証製品のトレーサビリティを強化。データベースはオープンソースにし、GOTS製品以外のバリューチェーンでも使用を可能にする。
- **インパクト評価**：インパクト評価のための指標を共同開発中、パイロットで検証する予定。
- **CSCS（管理されたサプライチェーンスキーム）パイロットプロジェクト**：小規模事業者グループの認証取得の可能性を高めることを目的とした取り組み。「グループ」認証プロセスを通して、コストを削減。パイロットを行った大阪の三恵メリヤス株式会社がGOTS認証を取得。世界的な実施を視野に動いている。

基準においてさらに重要になっていくであろう要件：

- 製品のサーキュラリティ、アフターライフに関する要件、耐久性、リサイクル性の要求
- 水やエネルギーの使い方、地球温暖化への取り組み



※このプレゼンで紹介されるGOTSの要求事項は、基準書からの抜粋、及びそれを和訳したものです。公式の基準書及び実施マニュアル等の資料は、GOTS公式ウェブサイトの[こちら](#)からご確認ください。



ご清聴ありがとうございました

www.global-standard.org

 @gots_japan



@globalorganictextilestandard

お問い合わせはこちらまで：

matsumoto@global-standard.org